



2022  
MARCH  
**Vol.5**

Tama Blue & Green Club Magazine

# たまの力

多摩ブルー・グリーン倶楽部 会報誌

## INTERVIEW

P2

### トップリーダーに聞く

成友興業株式会社 代表取締役社長

細沼 順人 氏

P3

### 新事業にチャレンジ

株式会社テラダイ 代表取締役社長

寺園 智樹 氏

P4

### 事業承継を経験して

あき電器株式会社 代表取締役

稻垣 美佐子 氏

P5

### グローバル企業の最前線

株式会社ブルー・スターR&D

会長

代表取締役

柴野 佳英 氏

柴野 美雪 氏

P6

### 地域貢献

認定特定非営利活動法人

育て上げネット 理事長

工藤 啓 氏

P7

### 倶楽部事業レポート

# 社員が会社の未来! 若い力の成長と共に発展していきたい

**子どもたちや従業員に  
誇れる会社を目指す**

建設事業と環境事業を中心に展開する成友興業株式会社。環境事業では、建設・建築の現場で発生するがれきや汚泥などの産業廃棄物を自社プラントで再資源化し、全国のセメント工場に出荷するとい

う、ゼロ・エミッションを達成している会社だ。

SDGsの観点からも注目を浴び、日本マーケティングリサーチ機構の調査（2021年実施）による「建設業界経験者が選ぶ汚染土壌再資源化処理施設No.1」を獲得。また「建設業界経験者が成長できる会社No.1」も獲得して



成友興業株式会社  
代表取締役社長  
ほそぬま まさひと  
細沼 順人氏

東京都出身。文教大学情報学部を卒業後、不動産会社勤務を経て、成友興業に入社。1996年、両親の他界を機に、同社の代表取締役社長に就任。

いる。実際に同社の技術者の平均年齢は30歳と若く、離職率も低い。

「私が29歳で経営を継いだ当時、弊社の社員は10人で、全員が私より年上でいました。

まだ『働き方改革』といった言葉もない時代で、産廃業界は『きつい・汚い・危険』の3Kビジネスと言われ、若い人たちが敬遠する職業でしたし、正直なところ私自身

組んだ工事でも数々の受賞歴を誇る。

## 社員全員と個人面談を 声から経営のヒントを つかむ

「約230名の社員全員との面談は、一巡するのに2、3ヶ月かかりますが、そこから社員個人の問題や不平不満、自社や業界全体の課題など様々なことが見えてきます。働き方の見直しもできるし、社員の意見を企業経営の参考にすることもあります。また、情報を受け取るだけではなく、そうした機会に弊社の魅力や会社の方向性などをしっかりと伝え、彼ら自身に外部に発信してもらいたいという思いもあります」

このほかにも各事業部から集められた35歳以下の若手社員数名が「100年存続していく魅力的な会社つくり」をテーマに毎月活動しているとのこと。

「若い社員が会社の未来です。メンバーには、成友興業のこれまでのやり方や業界の常識にとらわれず、100のルールを壊し、新たに100のルールをつくってもらいたい。若い力の成長とともに会社も変化し、発展していきたい」と答えてくれた。

### 第9回多摩ブルー賞 優秀賞受賞

**成友興業株式会社**  
<http://seiyukogyo.co.jp>

東京都あきる野市草花1141-1  
TEL:042-558-4111 FAX:042-558-4166  
E-mail:info@seiyukogyo.co.jp  
●創業:1975年3月 ●従業員数:227名(2022年2月現在)



### 社長のひとこと

建設系廃棄物のリサイクルや汚染土壌の浄化処理など、社会に必要とされる事業だからこそ48期存続できました。グループで400名企業となった今、次なるステップとして、「1,000名企業」を目指しています。

## 未来を見越して 別事業に着手

# ものづくり企業の技術結集で 新分野開拓にチャレンジ!



株式会社 テラダイ

代表取締役社長

てらぞの ともき  
寺園 智樹 氏

埼玉県出身。城西大学経済学部卒業。  
1993年に有限会社寺園産業(現在の  
株式会社テラダイ)に入社。2005年、  
代表取締役社長に就任。

## 異なる柱の必要性を感じて 自社ブランドを立ち上げる

アルミ合金のダイカスト製品を扱う株式会社テラダイは、金型設計から製造・加工・組立までをワンストップソリューションで提供している。

「ダイカスト」とは非鉄金属を溶かし、金型に流し込む鋳造法の一種で、複雑な形状でも高精度で対応できるうえ、短時間で大量に生産できるのが特徴。テラダイでは主に自動車関連の部品を製造・販売し、現在では中国やメキシコなど海外にも拠点を設けて展開しているグローバル企業だ。

そのテラダイが、ダイカストとは全く関係のない、釣具やキャンプ用品のブランド「PLETRY」を立ち上げた。

「弊社のダイカスト事業は自動車関連が90%以上を占めています。しかし、国内市場の縮小傾向やコスト合戦、電気自動車の普及など業界全体を取り巻く環境を考えると、異なる柱の必要性を感じています」と寺園智樹社長。

社内に釣り業界の経験者がいたことも後押しとなり、一年半の準備期間を経て2020年7月に商標を出願しスタートした。

「PLETRYの聖地」をつくる!  
新事業の10年後を描く

釣具やキャンプ用品などのアウトドア

市場は趣向性が高く、安価な製品からオーダーメイド製品まで幅広く存在する。そこで課題も多かったといった。

「ダイカスト製品とはコストも納期も違いすぎで、商品開発や販路開拓は簡単ではありませんでした。予算も潤沢にあつたわけではないので、いかに最小限のリスクで、手堅く自社ブランドを構築できるかを考えました」

そんななかで突破口となったのは、同社が参加する「チーム入間」の存在だ。入間市周辺のものづくり企業5社が集結した加工受託集団で、大手メーカーなどからの受託を協業している。このチームの中に切削加工技術を使って自社ブランドを立ち上げた企業があり、その商材をもとに釣り具メーカーに営業をかけたのだという。

「メーカーの困りごとに耳を傾け、何度も足を運びました。その繰り返しのなかできつかけをつかんで試作品を持ち込み、初めてOEM商品を受けたとき、ようやくPLETRYのスタートを切ったと感じました」

現在、協力工場は数十社に増え、その技術力に「毎日学ばれている」と寺園社長。宿泊施設を備えた「PLETRYの聖地」完成を目指している。

### 第9回多摩グリーン賞 優秀賞受賞

**株式会社 テラダイ**  
<http://www.teradai.co.jp>

埼玉県入間市狭山台4-8-14  
TEL:04-2934-3641 FAX:04-2934-3619  
E-mail: terazono@teradai.co.jp  
●創業:1976年12月 ●従業員数190名(2022年2月現在)



### 社長のひとこと

弊社の今年の一文字スローガンは「共」。1社だけではできないこと、自分ひとりではできないことを「共感」や「共存共栄」をキーワードに、他社(他者)と共に果敢に取り組み、「未来に選ばれるまち・ひと・企業」を目指します。

# それでも「もののづくり」を通して 新しいことにチャレンジしていきたい 挑戦と失敗の繰り返し



**あき電器株式会社**  
代表取締役

いながき 稲垣 美佐子 氏

東京都出身。他社での勤務を経て、1999年に父(現・会長)が経営するあき電器株式会社に入社。2019年5月、代表取締役に就任。

**準備も心構えもないまま  
父から娘へ事業承継**

電子制御機器製造・ソフト開発などをを行う、あき電器株式会社。試作品や試験装置など特殊な一点ものの製作も行い、企画・提案から回路設計、基板設計、組立配線、動作試験までワンストップで提供する技術者集団だ。

これまでに小型水力発電機をはじめ、白色LEDを用いた自転車の前照灯「マジックライト」の開発といった、アイデアに富んだ製品も生み出している。

同社の稻垣美佐子社長は、2019年5月1日、令和になる記念の日に前社長の古池祥克会長から会社を受け継いだ。

「その当時、父は87歳。高齢ではありましたが『お前が好きなようにやっていいから会社を継げ』と言われたときは驚きました。私は父の会社に入社して20年ほどが経つましたが、事務全般と雑務を担当するくらいで技術的なことはわかりません。まさか自分が会社を継ぐことになるとは思ってもいなかつたので、経営のことわざっていました」と稻垣社長。

ある日突然、父から娘へ事業承継宣言。驚きと戸惑いのなかで、稻垣社長による経営がスタートした。

## ありがたかった ベテラン社員のサポート

「覚悟がないまま社長になり、社員に対してみれば頼りなかったと思いますが、弊社の社員は経験30年以上のベテラン揃い

です。わからないことはマンツーマンで根気よく教えてくれました。私にできることは前社長や従業員の方々が築いてきたこの会社をなんとしても守り続けていくことだと思います」

稻垣社長が代表取締役に就任した年の年末は、奇しくも新型コロナウィルスが騒がれはじめた時期。社会がだんだんと非日常に突入していくなか、会社としても様々な混乱があつたのではないか。そ

んな質問をぶつけるとこんな答えが返ってきた。

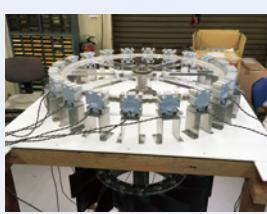
「もちろん影響はあります、コロナ禍は社会・地球全体の問題。会社としては当たり前の予防をして、やれることに全力で取り組むだけです。コロナ禍でなくとも不安や苦労は日々ありますし、今後のことをじっくり考えるにはいいチャンス。前進あるのみです!」

目下の会社の課題は販路開拓。長年ものづくりを中心にしてきたことで、営業面の強化が必要だと感じている。また、若い世代に技術を引き継いでいくプロセスの確立にも注力したい、と答えてく

### 第2回多摩ブルー賞 優秀賞受賞

**あき電器株式会社**  
<https://akidenki.com>

東京都調布市深大寺南町3-11-4  
TEL:042-485-3711 FAX:042-485-3709  
E-mail:akidenki@sepia.ocn.ne.jp  
●創業:1961年1月 ●従業員数:7名(2022年2月現在)

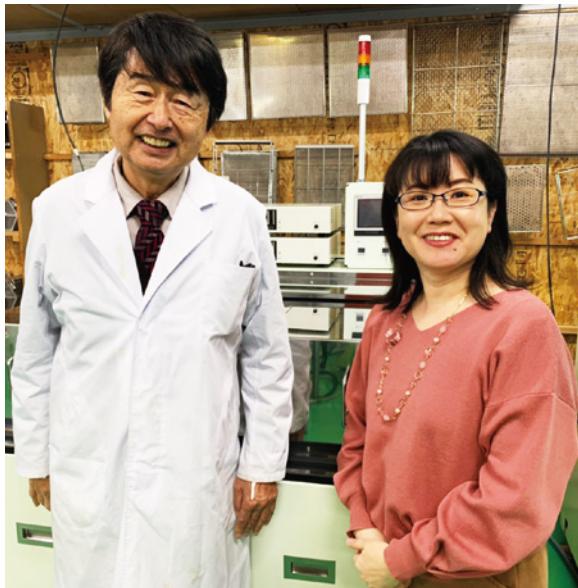


### 社長のひとこと

多摩ブルー・グリーン倶楽部を通して多くの企業さまと情報交換ができ、そこから事業発展の新たな希望を見出することができます。会員企業が連携して、多摩ブルー・グリーン倶楽部オリジナルの製品ができたらおもしろいですね。

## バリ取りの技術に自信あり!

# 「営業」ではなく「情報発信」で 世界10カ国以上にアプローチ!



### 株式会社 ブルー・スター R&D

会長

しばの

よしひで

代表取締役

しばの

みゆき

**柴野 佳英氏****柴野 美雪氏**

(会長)福島県出身。福島工業高等専門学校電気工学科卒業。2010年に株式会社ブルー・スターR&Dを設立し、同社会長に就任。文部科学大臣賞をはじめ、受賞歴多数。

## オンラインの技術開発で グローバル展開

金属やプラスチック、セラミックスなどを加工する際に「バリ」と呼ばれる不要部分が発生する。これを取り除く工程を「バリ取り」と言い、近年まで人件費の安い国で人の手によって行われることがほとんどだった。

この工程を人力に頼ると、バリを取り残したり、残ったバリによって製品が傷つき価値を下げてしまうことも。また、バリ取りは過酷な作業で、担い手の心身に多大な負担をかけてしまう。

株式会社ブルー・スターR&Dは、そうしたバリ取りの課題を解決に導く、超音波洗浄技術によるバリ取り装置を2013年に開発。現在では、中国3カ所、タイーカ所に実験センターを設置、韓国やアメリカには代理店を通して販売。そのほかにも、ホームページを多言語にて展開し、多くの国に向けて自社の技術をアピールしている。

「ホームページには日本語以外10カ国の言語で動画を掲載しています。ポルトガルやトルコには一度も訪問したことはありませんが、機械の組み立てや試運転、メンテナンスをお客さま自身でできるよう様々なツールを作つて出荷しています」と同社の柴野佳英会長と美雪社長。現在は、半導体

市場を狙つてアメリカに実験室を設置できないか検討しているそうだ。

## SNSをフル活用!

「会社設立時から海外展開を考えていた」という柴野会長。同社の超音波バリ取り洗浄装置に競合企業はなく、世界オンラインの技術。であれば、知つてもらえば需要はあると確信を持つて情報発信に努めてきた同社だが、最初は苦労もありましたという。

「超音波に関する情報は中国に集中していたので、『現地に詳しい』と売り込んできた日本人から情報入手を試みましたが



### 第14回多摩ブルー賞 最優秀賞受賞

### 株式会社 ブルー・スター R&D

<http://blue-galaxy.co.jp>  
神奈川県相模原市中央区横山台1-31-1  
TEL:042-711-7721 FAX:042-711-7237  
E-mail:shibano@blue-galaxy.co.jp  
●創業:2010年4月 ●従業員数:21名(2022年2月現在)

### 社長のひとこと

当社は営業部門を持たない、研究開発に特化した企業です。そこで情報の収集・発信に尽力し、世界中に「情報のパイプ」を持つことができました。当社は「超音波を世界に発信する、小さな多国籍企業」でありたいと思います。

# 「良い企業で働きたい若者」と 現代の社会課題を解決！

**若者の就労支援は「社会投資」  
働けない若者をサポート**

2020年度のニートの数は108万人（総務省／労働力調査より）と言われる。そんななか、認定特定非営利活動法人育て上げネットは「すべての若者が『働く』と『働き続ける』を実現できる社会」を

目指し、若者と社会をつなぐサポート活動に取り組んでいる。

若者への就労支援や保護者を対象にした相談窓口、教育事業、企業や行政との連携事業など活動は幅広い。

「一人の若者が社会的に排除されたまま生活保護を受けた場合と、納税者として社会の一員となつた場合のコストギャップは一億5000万円とも言われています。私たちは、若者を一人支援することは一億円以上の価値がある『社会投資』であると考え、この社会課題の解決に取り組んでいます」と工藤啓理事長。

同法人が若者に提供する就労基礎訓練プログラム「ジョブトレ」では、利用者一人ひとりに個別の課題を設定し、軽作業や農業などの仕事体験を通して働くため必要な基礎を少しずつ身につけていく。

グループ行動を基本とするため、自ずとコミュニケーションの取り方も学ぶ。利用者は20代前後と30代前後に大きく分かれ、前者はインターネットや学校からの情報でジョブトレを知り、後者は家族や他の支援機関の紹介から利用へと結びつくことが多いそうだ。

**現代の働く環境の変化が  
もたらしたもの**

新型コロナウイルスの蔓延による緊急事態宣言が出た直後、育て上げネットでは支援サービスをオンライン型に切り替えて対応。現在は対面型とオンライン型を並行しているそうだ。

「オンライン型では地域を選ばないことで、移動負担がないことなどから、一回のイベントで500名を超える参加者になりました。また、自宅にひきこもっていた若者が、オンラインプログラムを経て、フルリモートで正社員のエンジニアとして採用されたこともあります。企業側の変化により、これまで『働けない』と思われていた若者が新たな環境で活躍するシーンが目立ってきます」

今後は、情報システム・開発部門をより充実させ、若者との接点づくりのデジタル化を進めていくという育て上げネット。2022年3月からは独自の会員企業説明会に取り組み「よい企業で働きたい若者と、よい若者と出会いたい企業、双方のニーズを満たしていくたい」と答えてくれた。

## 第6・9回多摩グリーン賞 優秀賞受賞

**認定特定非営利活動法人 育て上げネット**  
<https://www.sodateage.net>

東京都立川市高松町2-9-22 生活館ビル1階  
TEL:042-527-6051 FAX:042-548-1368  
E-mail:pr@sodateage.net  
●創業:2004年5月 ●従業員数:112名(2022年2月現在)



## 理事長のひとこと

日本では若者は希少財化しています。減りゆく若者との接点がうまくつくれず、企業さまも苦労されているようです。私たちは、広く若い世代に選ばれるための観点を共有し、連携しながらサポートしていきたいと考えています。

# 俱楽部事業レポート

多摩ブルー・グリーン倶楽部は、多摩ブルー・グリーン賞受賞企業と選考委員、後援団体による組織です。

受賞企業の経営課題の解決と相互連携および地域経済の振興を目的に、事業を通じて会員相互の連携を深めます。

## 1

### 多摩ブルー・グリーン倶楽部 2021年度総会

実施日 2021年12月6日

多摩ブルー・グリーン倶楽部2021年度総会において、決議事項として2022年度の倶楽部新役員4名が選出されました。また、報告事項として2021年度例会報告・事業について、コロナ禍にあっても「意義のあるネットワーク構築」を進めた結果、15の事業の実施を報告しました。



#### 倶楽部新役員紹介

会長

金澤建設株式会社  
代表取締役社長

副会長

多摩冶金株式会社  
取締役副社長

金澤 貴史 氏

副会長

株式会社コスマテック  
代表取締役社長

山田 真輔 氏

副会長

株式会社ヒーロー<sup>+</sup>  
代表取締役社長

高見澤 友伸 氏

岩崎 高之 氏

## 2

### 従業員向けセミナー開催のご案内

入社2~5年目程度の若手従業員の方を対象とした連続プログラム(2回)を実施します。

「意識・習慣を変える方法」をテーマに本プログラムを通じて、知識習得と参加者間のネットワーク形成を図ります。

株式会社  
ポールスターコミュニケーションズ  
代表取締役

きた こうじ  
**北 宏志氏**



人材育成コンサルタント。年間130回以上の講演、研修に登壇。これまでの受講生は13,000名を超える。私立中学・高校での6年間の教員を経て2013年よりビジネスの世界へ。中国大陸で日本製ランドセル販売を3年間で9.7倍に拡大させ黒字化した経験から、海外ビジネスのアドバイザーとしても活躍している。「信頼と貢献」がモットー。北海道出身。剣道鍊士六段。主な著書に「ビビリの人生が変わる逆転の仕事術」(三才ブックス 2020)

日 時

2022年6月28日(火)・7月25日(月)  
両日 13:00~17:30

会 場

たましん本店4階 大会議室

定 員

30名

参 加 費

一人あたり、5,000円(全2回)

募 集

以下URLの受付フォームよりお申し込みください。

[https://www.tamashin.jp/bg-club/event\\_app/staff.html](https://www.tamashin.jp/bg-club/event_app/staff.html)



内 容

■ 6/28(火) モチベーションが高まる自己分析 ~パフォーマンスUPはモチベーションにあり~

1. オリエンテーション
2. これからのビジネスパーソンに求められること
3. 理想と現実の対比がモチベーションアップの第一歩
4. 目標設定と行動設定の実際

■ 7/25(月) 自他を高めるコミュニケーション ~チームで成果を上げ、役割を見出す~

1. 実践の振り返り
2. ビジネスパーソンとして身につけるべきコミュニケーション術
3. 自分キャッチコピー作成
4. 研修の総まとめ

※新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し、中止や延期、内容の一部変更となる可能性があります。

# 「第31回例会」のご案内

**日時** 2022年4月15日(金) 14:00~17:00 (受付開始 13:30)

**場所** たましん本店4階 大会議室 (東京都立川市緑町3-4)

**内容** 例 会 14:00~

第1部 講演

～結束力を強める企業ブランディング戦略～  
『生活の木のWellness & Well-being経営』

重永 忠 氏

株式会社生活の木 代表取締役社長

1961年東京都生まれ。東京経済大学卒業後、大手流通業に入社。経済産業省中小企業大学校経営コースを経て、父が経営する陶器の製造販売会社に入社。後にハーブと出会い、新事業として拡大。94年から代表取締役社長。2009年、経営コンサルティング会社リンクアンドモチベーションが実施した社員満足度調査で、東日本エリア1,100社中トップに輝き、注目を集めた。著書に『まかせる経営～ノルマをくせば会社は伸びる』(PHP)



## 第2部 第19回多摩ブルー・グリーン賞 受賞企業のご紹介

(最優秀賞受賞企業2社によるプレゼンテーション)

情報交換会 17:15~ (会費1,000円)

**定員** 60名程度

### 申込方法

以下URLの受付フォームにて3月31日(木)までにご回答ください。  
[https://www.tamashin.jp/bg-club/event\\_app/reikai.html](https://www.tamashin.jp/bg-club/event_app/reikai.html)



- ・ご自身に発熱(37.5度以上)の症状や体調が優れない場合は参加をお控えください。
- ・会場の入口付近にアルコール消毒液を設置しますので、入室時には、手指のアルコール消毒をお願いします。
- ・マスクを着用した上でご参加くださいますよう、ご協力をお願いします。
- ・会場内での飲食はお控えくださいますようお願いします。適宜水分を補給いただくことはこの限りではありません。
- ・新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し、中止や延期、内容の一部変更となる可能性があります。

多摩ブルー・グリーン倶楽部事務局

多摩信用金庫 儲蓄創造事業部

東京都立川市緑町3-4

TEL: 042-526-7728 E-mail: [bg-office@tamashin.net](mailto:bg-office@tamashin.net)